

「未来の顧客価値」を起点にした新製品・サービス開発手法セミナー

「価値次元」の視点による、新たな競争力獲得のために！

近年、「価格競争→コスト削減→商品力低下→コモディティ化→さらなる価格競争」という『負の連鎖』に悩む企業が多く見受けられます。その状況に対して「イノベーション」や「価値創造」が声高に叫ばれていますが、実際には「何をどのように組みめばよいのか分からない」のが現実です。本セミナーでは、「未来の顧客価値」を起点にすることで企業と顧客の価値共創を促し、既存の価格競争から脱し、全く新しい視点からの競争力を獲得するための、新製品・サービス開発手法をご紹介します。

セミナー概要・ポイント

- ・「3～6名のチーム型参加」「自社テーマによる演習」など、特徴的な演習スタイルを取っています。これにより「相互フォローによる学習効果の向上」「部門横断プロジェクトの疑似体験」「セミナー後の実際のプロジェクトへの移行」など、通常のセミナーと比べ、より実践的な教育効果、実際の業務につながる体験を得ただけです。
- ・演習では、独自の「二巡演習方式」を採用しています。「価値共創」という特殊なゴールを目指す場合、従来の問題解決のようなストレートなストーリー展開では十分な検討ができない可能性があります。そのため、一巡目で概要を押さえ、二巡目で詳細検討と項目どうしの補間・調整を進めるという方式を取ることで、より実際の「価値共創」に近づけていきます。

- カリキュラム（2日間）：
 - 1) 講義：概論
実践演習①：Step0～8（一巡目：概要づくり）
 - 2) 実践演習②：Step0～8
（二巡目：詳細検討、項目の補間・調整）

層別図解法マスター1日コース

スピードある問題整理・解決に最適な、図形思考の新手法です！

データの共通点や特長に着目していくつかのグループに分ける「層別」は、品質管理の基本的な考え方として、多くの場面で活用されています。また、言語データを親和性によって統合することで問題の構造を明らかにする「親和図法」は、新QC七つ道具の一つとして品質管理はもちろん、言語データを活用するシーンで幅広く活用されています。「層別図解法」は、この層別の考え方と親和図法のいわばハイブリッド手法であり、言語データの真意を読み取りながら、スピード感をもって図形化することを可能とします。これにより、品質管理はもちろん、あらゆるビジネスシーンで、各階層職位の方々の問題整理・解決やアイデア発想にご活用いただけます。ぜひ当コースをご利用ください。

セミナー概要・ポイント

- ・層別図解法の最大の特徴である「キーワード分類」と「島替え」をグループ演習で体験いただき、スピーディーな図形思考法*が修得できます。
 - ・言語データ（原始情報）を引き出す実践的な発想法のツール（マングラート等）もご紹介します。
 - ・QCサークル千葉地区で実際に層別図解法が活用された事例をご紹介しますので、実務で手法を適用する際のご参考としていただけます。
 - ・言語データの作図に時間が取れない方、ブ레인・ストーミングからアウトプットに結びつけるのに苦労している方にお勧めの内容です。
- ※図形思考法とは、図に示すことで混沌とした情報を整理したり、全体を把握したりする思考法です。また、図を作ること、思考を広めたり深めたりすることができます。

- 対 象：
 - ・製造業・サービス業／BtoB・BtoC の区分は特にありません。
 - ・チームの役割に応じた効果的な演習を行うため、以下の各部門から、チーム（標準5名／最低3名～最大7名）でのご参加をお願いしております。
 - ①事業全体のベクトルを示す：経営企画部門
 - ②新製品の企画・開発を行う：A.商品企画部門／B.技術開発・研究開発・R&D部門／C.営業部門
 - ③関係部門の今後のあるべき姿を社内システムとして支える：人材開発・能力開発部門
- ※個人でのお申し込みは受け付けておりません。
- ※1セミナーにつき最大5チームまでになります。
- 日 程：前期・2016年8月29日(月)
後期・2016年10月11日(火)
- 開催地：東京・日科技連 東高円寺ビル
- 参加費：一般 361,800 円／会員 324,000 円(税込)
・参加費は1チームあたりの金額です
- 講 師：加藤雄一郎（名古屋工業大学）

高収益への転換のカギ「品質コストマネジメント」

利益を生む品質管理への変革を実現する

品質コストは、TQC および TQM の生成当初からシステムの成否を占う主要なスケールであったものの、日本ではあまり注目されてきませんでした。その背景にはわが国固有の組織風土が考えられますが、日本企業は世界に冠たる品質を実現させた一方で、低収益を余儀なくされてきました。品質コストはこの壁を打ち破り、品質の向上のみならず、品質管理を通じてきちんと利益（Return on Quality）を生み出す仕組みの構築を支援します。当セミナーでは、わが国の組織風土に適した品質コストの活用のあり方を、事例を紹介しつつきめ細かく解説していきます。

セミナー概要・ポイント

- ・品質コストの実態を把握し、効果的に管理することがいかに重要かを、とくに失敗事例を参照しながら学習していきます。
- ・内外の先進企業の取組事例を紹介し、わかりやすく解説します。
- ・品質コストの測定、分析、活用の場面で生じる様々な疑問に応えます。
- ・品質コストとくに失敗コストを効果的に低減するための手法について解説し、その活用方法を体験的に学習していただきます。

- カリキュラム：
 - <午前>
 - ・メーカーにとって最も重要なリスクマネジメントツールとしての品質コスト
 - ・品質コストが示唆する「品質管理に優る投資はない」
 - ・事例から学ぶシステムとしての品質コスト
 - <午後>
 - ・失敗コストの低減のための品質コストドライバー分析
 - ・品質コストマトリックスを活用した品質改善計画の立案（グループ演習）

セミナー概要・ポイント

- 対 象：トップマネジメント、品質管理・品質保証・生産管理部門の管理者の方々
 - 日 程：2016年7月11日(月)
 - 開催地：東京・日科技連 東高円寺ビル
 - 参加費：一般 54,000 円／会員 43,200 円
 - ※本コースは日経BP社との共催事業です。「日経ものづくり」などの日経BP社発行雑誌の定期購読者の方は、会員価格でご参加いただけます。
 - 講 師：伊藤嘉博（早稲田大学）
-
- こんな方におすすめです
 - ・品質の維持・向上にかかる費用と、工程内の失敗や出荷後のクレームなどにかかる費用のバランスを適正化したい
 - ・品質トラブルによる損失や、連鎖的に発生するリスクを効率的に回避したい
 - ・直接的なコストだけでなく、クレーム処理など見えない費用が増大している
 - ・過剰なコストダウンが、製品の品質レベルに影響を与えてしまっている
 - ・コストダウンを要求されているが、製品品質への影響を最小限に抑えたい
 - ・品質管理・品質保証の取り組みを、より効率よく、適正な姿にしていきたい

モノづくりににおける問題解決のためのデータサイエンス設計コース

応答曲面法を超える新兵器：多目的設計探査！

ビッグデータ（大規模コンピューティング）の活用は、経営やマーケティングの分野にとどまらず工業の分野でも見られるようになりました。そして、ビッグデータをモノづくりの設計段階で活用することにより、一部の先進企業が市場を席巻するという傾向は、今後強まりを見せると考えられます。

当コースでは、モノづくりに携わる技術者向けに、ビッグデータをモノづくりの設計段階で活用する手法である「多目的設計探査」を平易に解説いたします。設計開発に携わる技術者の方はもちろん、自社のビッグデータ活用方法にお悩みの方、データサイエンティストを目指している方に当コースをおすすめします。

セミナー概要・ポイント

- ・多目的設計探査の手順（下記参照）に沿ってステップ毎に手法を平易に解説いたします。
- ・当手法の開発者である、大林 茂 氏（東北大学流体科学研究所 所長）にご講義いただきます。
- ・1人1台パソコンを配付のうえ、フリーソフト「R」を用いたビッグデータ解析演習を多数行います。
- ・最終日には、ビジネスとビッグデータ解析をつなげるトレーニングとして、総合演習を行います。

【多目的設計探査の手順】

- ①実験点を配置（空間充填計画）
- ②予測関数を作る（ノンパラメトリック回帰）
- ③許容解を得る（遺伝的アルゴリズム）
- ④マップ化する（自己組織化マップ）
- ⑤技術的解釈を行う（古典論の結果と比較、ラフ集合）

- 対 象：
 - ・モノづくりに携わる実務者で、ビッグデータを業務に活用したい方
 - ・製造業に携わる技術者で、自社のビッグデータの活用方法にお悩みの方
 - ・データサイエンティストを目指している方で、解析スキルを身に付けたい方
 - ・前提知識として応答曲面法の基本知識をお持ちの方
- 日 程：2017年2月27日(月)～3月1日(水)
- 開催地：東京・日科技連 東高円寺ビル
- 参加費：一般 108,000 円／会員 97,200 円(税込)
- 講 師：大林茂（東北大学）
吉野睦（㈱デンソー・工学博士）
相沢健実（元 太平洋セメント㈱・工学博士）

●カリキュラム：

	午 前	午 後
第1日	多目的設計探査の概要	計算点配置（空間充填計画での特性値採取） コンピューティング（CAE）
第2日	ノンパラメトリック回帰（予測） 遺伝的アルゴリズム	遺伝的アルゴリズム（午前の続き）、 自己組織化マップ（技術的解釈）、ラフ集合
第3日	総合演習	総合演習（午前の続き）、質疑応答

※前提知識（応答曲面法の基本知識）が不安な方は、オプションとして「技術力で差をつけるための実験計画法実践セミナーエキスパートコース」の当該講義に、特別価格（一般 19,440 円／会員 14,740 円）で参加いただけます。

セミナーに関するお問い合わせ先

一般財団法人 日本科学技術連盟 教育推進部 第一課
〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1
TEL: 03-5378-1213 / FAX: 03-5378-9842
E-MAIL: tqmsemi@juse.or.jp
WEB: http://www.juse.or.jp/

本資料に掲載されている内容は、2015 年 12 月現在のもので、予告なく変更される場合がありますのでご注意ください。
講師名は順不同・敬称略で掲載しております。
【201512ver.2】

2016 年度 日科技連 TQM・SQC 関連
新規セミナーのご案内

ver2

いま日科技連で企画が進んでいる、2016 年度新規セミナーの最新情報をお届けします！

- ・各セミナーとも、現在、企画検討中のため、内容・日程・参加費などが予告なく変更される場合があります。
- ・詳細は、日科技連ウェブサイトなどによる正式な告知をご覧くださいか、セミナー担当までお問い合わせください。

自工程完結セミナー（仮）

品質は工程で造りこむ！ トヨタ流仕事の進め方

トヨタ自動車に取り組んでいる仕事の進め方「自工程完結」をわかりやすく、実践的に解説するコースです。仕事を定義していくうえで重要となるのは、「確認する作業」と「決定する作業」の連鎖を明確にし、ゴールから遡って手順を作成することです。そして、その手順に従い仕事を進め、自分の仕事が正しいのか、そうでないのかを判断しながら遂行できるようにします。「品質は工程で造りこむ」ということをキャッチフレーズではなく、実践していくためにも上手に準備し、確実な作業を行っていくことが必要となります。

当コースでは、トヨタ自動車の自工程完結の本質から、考え方を含め、自社に展開しやすいよう、演習を交えながら理解していただきます。生産性の向上、スタッフの意欲向上に役立つ考え方です。

セミナー概要・ポイント

〔自工程完結の総括〕

- ①科学的なアプローチによる品質保証
- ②工程ごとの良品条件を整備・改善していく

〔自工程完結を進める上で大切なこと〕

- ①リーダーシップの発揮
- ②本当の現地現物

- 日 程：2016 年度上期予定
- 開催地：東京
- 参加費：未定
- カリキュラム：詳細検討中

組織力向上のためのリーダーシップ・マネジメントセミナー

「失敗学」「伝達力」の濱口 哲也 氏が、すべてのリーダー・マネージャーに贈る新セミナー！

近年、リーダーシップやマネジメントが形骸化・マニュアル化し、仕事の設計も想定も創造もできない「定形型人材」が増えていると言われています。しかし、精神論ベースのリーダーシップ研修では、その「悪さ」が見えないため、根本を変えることができません。本セミナーでは、定形型人材の増えた背景と原因を論理的に解き明かし、そこからリーダーに必要なこと（考え方、行動）を3つの視点から導き出します。聞く人が納得することが、明日のリーダーの行動を変える一番の特効薬となります！

セミナー概要・ポイント

- ・「リーダーとは斯くあるべし」から入るのではなく、リーダーシップやマネジメントについて論理的に『現状』『悪さ』『対応策』を解説します。
- ・定形型人材から脱し、真のリーダーになるための目の付け所、行動原理を、「主導者」「教育者」「上司」の視点で学んでいただけます。
- ・半日セミナーですので、お気軽にご参加いただけます。

- 対 象：製造業・サービス業を問わず、すべてのリーダー・マネージャーの方々
- 日 程：2016 年 10 月 26 日(水)
- 開催地：東京・日科技連 東高円寺ビル
- 参加費：一般 29,160 円／会員 23,760 円(税込)
- 講 師：濱口哲也（東京大学大学院）
- カリキュラム(半日)：
 - 1)いま、日本で何がおきているか
 - 2)これからのリーダーシップに求められること